

# 2024 年度 大学院生アンケート報告書

川崎医療福祉大学

FD・SD 委員会

本学の「大学院生アンケート」は専攻での教育・研究について大学院生がどのように評価しているかを把握するために行っている。この調査は、2008 年度より始まり、毎年実施している。

## 1. 実施状況

### 1-1 実施対象と実施方法

対象は大学院生全員で、2024 年度の対象者数は 129 名であった。アンケートはポータルサイト上の WebClass で実施した。質問項目は巻末の資料 1 の通りである。

### 1-2 実施期間

2025 年 1 月 6 日（月）～2025 年 2 月 17 日（月）

## 2. 実施結果

### 2-1 回収率

修士課程 在籍者 109 名に対して 59 名から回答を得た（回収率：54.13%）

博士後期課程 在籍者 20 名に対して 9 名から回答を得た（回収率：45.00%）

### 2-2 修士課程全体・博士後期課程全体の結果

両課程において、専攻の教育全体に対する満足度 (Q3)、カリキュラム体系に対する評価 (Q4)、シラバス記載の到達目標の達成度 (Q5)、高度専門職者として必要な知識・技術の習得度 (Q6)、研究課題に対する主体的な取り組み (Q7)、指導教員 (副指導教員を含む) の研究指導に対する満足度 (Q8)、研究成果の公開機会 (中間研究報告会、学会発表、論文投稿など) の多さ (Q9)、実験・研究・実習の設備・施設及び図書に対する満足度 (Q10)、また、博士課程において、Q3 から Q12 までの全ての項目の平均値は 4.0 以上と概ね肯定的に評価されていた。一方、修士課程において、社会 (病院や施設などの現場) との連携に対する満足度 (Q11) と他専攻の教員・大学院生との対話・交流に対する満足度 (Q12) の平均値は 3 点台だった。

### 2-3 各質問項目の記述統計値－各専攻別の結果 (表 1・表 2)

#### Q3 専攻の教育全体に対する満足度 (修士平均 4.15、博士平均 4.56)

修士課程では、4.5 以上が 3 専攻で、4.0 未満が 2 専攻であった。博士後期課程においては、

4.5以上が3専攻、4.0未満が1専攻であった。

Q4 カリキュラム体系に対する評価（修士平均 4.12、博士平均 4.44）

修士課程においては、4.5以上が3専攻、4.0未満が3専攻であった。博士後期課程においては、4.5以上が3専攻、4.0未満が1専攻であった。

Q5 シラバス記載の到達目標の達成度（修士平均 4.05、博士平均 4.56）

修士課程においては、4.5以上が2専攻、4.0未満が2専攻であった。博士後期課程においては、4.5以上が3専攻で、4.0未満の専攻はなかった。

Q6 高度専門職者として必要な知識・技術の習得度（修士平均 4.08、博士平均 4.44）

修士課程においては、4.5以上が3専攻、4.0未満が2専攻であった。博士課程においては、4.5以上が2専攻で、4.0未満の専攻はなかった。

Q7 研究課題に対する主体的な取り組み（修士平均 4.10、博士平均 4.44）

修士課程においては、4.5以上が4専攻、4.0未満が2専攻であった。博士後期課程においては、4.5以上が2専攻で、4.0未満の専攻はなかった。

Q8 指導教員（副指導教員を含む）の研究指導に対する満足度（修士平均 4.49、博士平均 4.89）

修士課程においては、4.5以上が7専攻で、4.0未満の専攻はなかった。博士後期課程においては、4.5以上が4専攻で、4.0未満の専攻はなかった。

Q9 研究成果を公開する機会（中間研究報告会、学会発表、論文投稿など）の多さ（修士平均 4.46、博士平均 4.56）

修士課程においては、4.5以上が6専攻、4.0未満が1専攻であった。博士後期課程においては、4.5以上が4専攻、4.0未満が1専攻であった。

Q10 実験・研究・実習の設備・施設及び図書に対する満足度（修士平均 4.17、博士平均 4.33）

修士課程においては、4.5以上が4専攻、4.0未満が3専攻であった。博士後期課程においては、4.5以上が2専攻、4.0未満が1専攻であった。

Q11 社会（病院や施設などの現場）との連携に対する満足度（修士平均 3.81、博士平均 4.22）

修士課程においては、4.5以上が2専攻、4.0未満が7専攻であった。博士後期課程においては、4.5以上が2専攻、4.0未満が1専攻であった。

Q12 他専攻の教員・大学院生との対話・交流に対する満足度（修士平均 3.53、博士平均 4.22）

修士課程においては、4.5以上が2専攻、4.0未満が7専攻であった。博士後期課程においては、4.5以上が2専攻、4.0未満が1専攻であった。

表 1 修士課程結果

修士課程	人数	Q3全体満足	Q4カリキュラム	Q5目標達成	Q6知技習得	Q7主体取組	Q8研究指導	Q9成果公開	Q10設備施設	Q11社会連携	Q12他交流
福祉	7	4.14	4.29	3.86	4.00	4.00	4.29	4.14	3.86	3.86	4.00
心理	17	4.24	3.94	4.06	4.06	3.82	4.59	4.65	4.29	4.12	2.94
保看	13	4.15	4.23	4.08	4.15	4.15	4.54	4.46	4.23	3.77	3.92
感覚	2	5.00	5.00	4.00	4.50	4.50	5.00	5.00	4.50	4.50	3.00
健体	4	4.75	4.75	4.75	4.75	5.00	4.75	4.50	4.75	3.75	3.75
栄養	3	4.67	4.67	4.67	4.67	4.67	4.67	4.67	4.67	4.67	4.67
リハ	1	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	4.00	2.00	1.00	1.00	1.00
技術	7	3.71	3.86	4.00	3.86	4.29	4.14	4.43	4.00	3.14	3.29
経営	1	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	5.00	5.00	3.00	3.00	3.00
情報	2	4.00	4.00	4.00	4.00	4.50	4.50	4.50	4.50	3.50	4.50
マネ	2	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
総計	59	4.15	4.12	4.05	4.08	4.10	4.49	4.46	4.17	3.81	3.53

表 2 博士課程結果

博士課程	人数	Q3全体満足	Q4カリキュラム	Q5目標達成	Q6知技習得	Q7主体取組	Q8研究指導	Q9成果公開	Q10設備施設	Q11社会連携	Q12他交流
福祉	2	5.00	4.50	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	4.00	4.00	4.50
保看	4	4.75	4.75	4.50	4.25	4.25	5.00	4.50	4.75	4.50	4.25
感覚	1	3.00	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	3.00	3.00	3.00	3.00
健康	1	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
技術	1	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	5.00	5.00	4.00	4.00	4.00
総計	9	4.56	4.44	4.56	4.44	4.44	4.89	4.56	4.33	4.22	4.22

### 3. 自由記述

「シラバス通りに講義がおこなわれていない」、「複数講義間で講義内容の重複が多い」という意見や、冷房の稼働時間についての意見がみられた。自由記述をまとめたものについては、別途保管する。

### 4. まとめ

アンケート回収率が、修士課程で 54.13%、博士課程後期で 45.00%と低い水準であった。今後、回収率をあげ、まずは 60%程度を目標とし、調査の精度を高める必要がある。

専攻教育全体の満足度の平均値は、修士課程で 4.15、博士課程で 4.56 であった。質問項目が大学院教育の中核を占める内容で構成されていることからすれば、修士課程並びに博士後期課程の教育・研究体制に対する大学院学生の満足度は総じて高いと言える。ただし、修士課程については、昨年に引き続き、一昨年までの 4 年連続 4.4 以上の状態と比べて低い水準のままである。一昨年までの値に戻すべく、原因の究明と対策を進めていきたい。

質問項目別では、博士課程においては、全ての項目において、平均値が 4.0 以上となった。一方で、修士においては、「社会との連携」の満足度、および、「他専攻との対話・交流」の満足度について、これまでと同様に 4.0 を下回る値を示した。また、Q3 から Q12 までの全ての項目について、修士課程の平均値が、博士課程の平均値を下回っており、今後の課題として取り組む必要がある。

図1 専攻の教育全体に対する満足度の10年間の経年変化（修士課程）

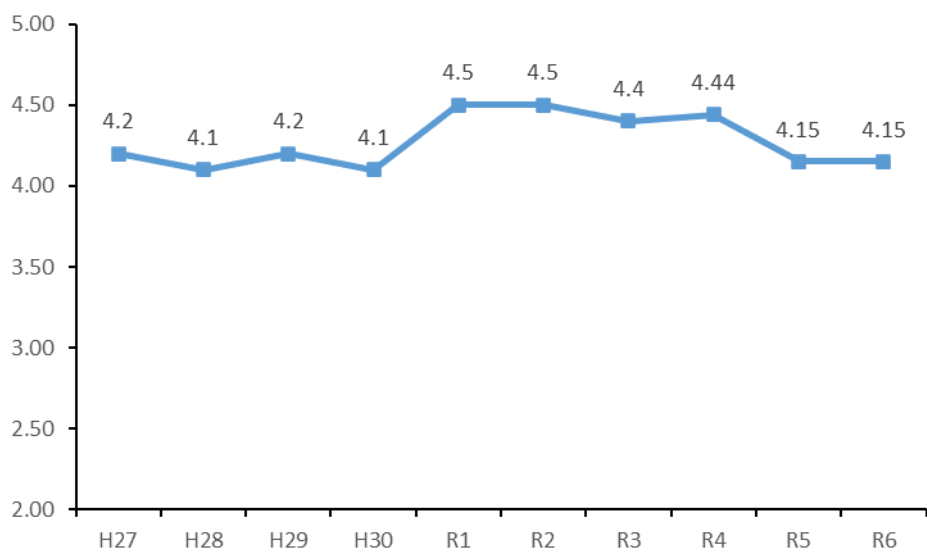
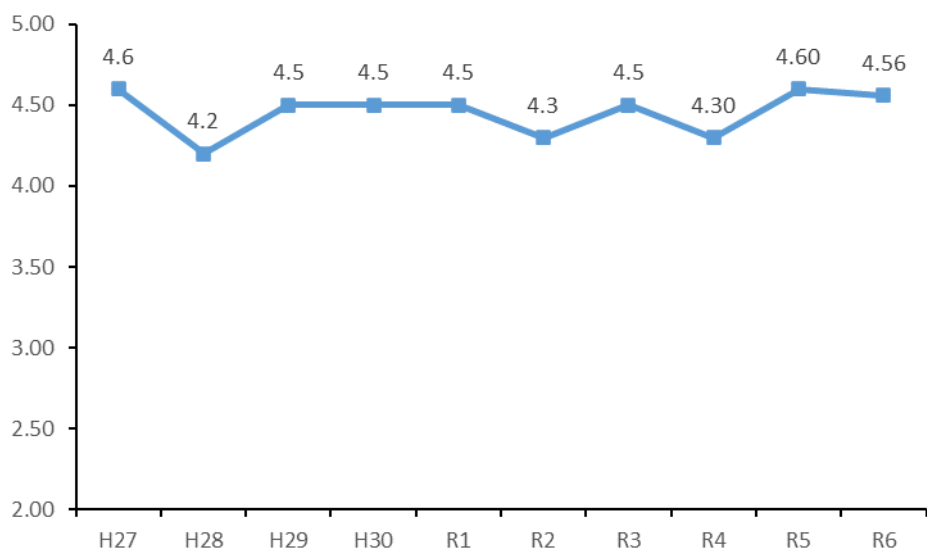


図2 専攻の教育全体に対する満足度の10年間の経年変化（博士課程）



## 2024年度 大学院生アンケート

本学は授業改善及び教職員の能力向上を組織的に進めることを目的とし、FD・SD活動の一環として、毎年大学院生アンケートを実施しています。アンケート結果につきましては、集計後、本学ホームページにて公開いたします。

本アンケートは匿名となっており、個人のプライバシーの侵害及びアンケートの目的以外の使用はいたしませんので、率直に回答してください。

なお、所属専攻、年次、回答の有無はシステム上で確認できるようにしていますが、アンケート回答の督促及び集計のためのみを使用しますのでご了承ください。

### 問1 必須

所属している課程を選択してください。

- 1 修士課程
- 2 博士後期課程

### 問2 必須


所属している専攻を選択してください。

- 1 医療福祉学専攻
- 2 臨床心理学専攻
- 3 保健看護学専攻
- 4 感覚矯正学専攻
- 5 健康体育学専攻
- 6 臨床栄養学専攻
- 7 リハビリテーション学専攻
- 8 健康科学専攻
- 9 医療技術学専攻
- 10 医療福祉経営学専攻
- 11 医療秘書学専攻
- 12 医療福祉デザイン学専攻
- 13 医療情報学専攻
- 14 医療福祉マネジメント学専攻

### 問3 必須

専攻の教育は全体として満足できるものでしたか。

未回答

満足できなかった  満足できた

### 問4 必須

専攻の教育課程（カリキュラム）は体系的でしたか。

未回答

体系的ではなかった  体系的だった

### 問5 必須

個々の授業のシラバスに記載されている到達目標を達成できましたか。

未回答

達成できなかった  達成できた

問6 必須

個々の授業を履修することで、高度専門職者として必要な知識・技術を習得できましたか。

未回答

習得できなかった  習得できた

問7 必須

研究課題に対して探求心をもって主体的に取り組むことができましたか。

未回答

取り組むことができなかった  取り組むことができた

問8 必須

指導教員（副指導教員を含む）の研究指導は満足できるものでしたか。

未回答

満足できなかった  満足できた

問9 必須

研究成果を公開する機会（中間研究報告会、学会発表、論文投稿など）は十分にありましたか。

未回答

十分になかった  十分にあった

問10 必須

実験・研究・実習の設備・施設及び図書は満足できるものでしたか。

未回答

満足できなかった  満足できた

問11 必須

社会（病院や施設などの現場）との連携は満足できるものでしたか。

未回答

満足できなかった  満足できた

問12 必須

他専攻の教員や大学院生との対話や交流は満足できるものでしたか。

未回答

満足できなかった  満足できた

問13

大学院の教育について、何かご意見があればご自由にお書きください。（任意）

回答する